

飯豊町バイオマス産業都市構想の概要

山形県飯豊町、人口 約0.7万人、面積 約3.3万ha

構想の概要

家畜排せつ物等を利用したバイオガス発電事業プロジェクトと木質バイオマス資源利活用推進・熱供給推進プロジェクトを軸に、第4次総合計画で掲げた将来像「田園の息吹が暮らしを豊かにするまち」実現を目指します。

1. 将来像

- ①農林業資源を活用した持続可能な循環型のまちづくり
 - ・家畜排せつ物等の畜産系バイオマスを利用したバイオマス利活用推進を加速化
 - ・町内の産業に適した地域資源の有効活用の促進と再生可能エネルギーの経済創出
- ②町内の廃棄物処理機能を補完するバイオガス事業の構築
 - ・メタン発酵施設の建設・運営による家畜排せつ物の適正処理の促進
 - ・家畜排せつ物による河川汚染防止や地下水汚染の防止
- ③森林資源による農山村型バイオマス産業化の促進
 - ・バイオマスエネルギーを中心としたバイオマス産業化の促進による自立・分散型エネルギー供給、災害に強いまちづくり
 - ・町内の農林業を中心としたバイオマス産業化の促進

3. 目標(10年後)

- ・肉牛、食品残さ、農業集落排水し尿汚泥など原料の効率的なメタン発酵技術の確立
- ・町の廃棄物処理体制の確立(地域内の畜産事業者との連携拡大と、農業集落排水し尿汚泥の活用推進)
- ・圏内バイオマス燃料需要と供給能力のバランスをとり、地域内へ利益が確保される最適な木質バイオマスの素材生産・燃料供給規模、事業の定着・拡大

5. 実施体制

実施推進: 役場関係課(総務企画課、農林振興課、地域整備課等)
 内部評価: 庁内管理職会議若しくは庁内調整委員会
 外部評価: 飯豊町振興審議会

2. 事業化プロジェクト

- ①家畜排せつ物等を利用したバイオガス発電事業プロジェクト
民間事業者を実施主体とし、町内畜産事業者から家畜排せつ物を調達し、バイオガス発電に取り組む。
- ②木質バイオマス資源利活用推進・熱供給推進プロジェクト
町内の広葉樹・針葉樹の素材生産体制を拡大し、地域内外の資源需要に応じた木質バイオマス燃料製造・素材(丸太)供給の体制を整備していく。また、新規にエネルギー用のバイオマス需要を創出するため、住宅団地や公共施設等を対象とした木質バイオマスによる熱供給システム(小規模も含む)の導入を推進する。

4. 地域波及効果

- ①家畜排せつ物等を利用したバイオガス発電事業プロジェクト:
新規雇用5名
- ②木質バイオマス資源利活用推進・熱供給推進プロジェクト:
新規雇用15名(林業従事者含む)
- ③経済波及効果: 27.8億円
(直接効果9.7億円、波及効果18.1億円)

6. その他

平成12年: 飯豊町地域新エネルギービジョン
 平成20年: 飯豊町バイオマスタウン構想、
 飯豊町バイオマス活用推進計画(予定)

飯豊町 田園の息吹が暮らしを豊かにするまち

- ・バイオマス資源循環を軸にした環境にやさしく、持続可能な地域社会の実現
- ・エネルギー自給率の高いまちづくりと地域産業と環境が調和した低炭素社会の構築
- ・新たな産業による雇用創出と農林業の活性化



木質バイオマス資源利活用推進
・熱供給推進プロジェクト
飯豊町の地域材の総合利活用

バイオマス熱供給システム

バイオガス発電プラント

家畜排せつ物等
バイオガス発電事業プロジェクト

バイオマス資源循環の確立

農地還元

木質バイオマス発電所
 (隣接市町)